

今後の課題・検討事項について

水道事業を取り巻く情勢は、人口減少や節水意識の向上、生活形態の変化等による水道水の需要の減少により収益は減少することが見込まれる。一方、費用面では水道施設の耐震化や老朽化した管路の更新に多額の費用が見込まれ、益々厳しい経営環境におかれていく。

市民に信頼される持続可能な水道事業を目指して、中長期的な視点に立った計画的な水道施設の耐震化、更新等を進めるとともに、補助金や出資金等の収入確保や経費の縮減、業務の効率化を図る。

①重要管路、基幹水道施設の耐震化及び老朽管の更新

- ・ 中長期的な更新計画に基づく事業の推進
- ・ 安価かつ軽量で高強度な管種（高密度ポリエチレン管）の導入
- ・ 管路DB（デザイン・ビルド）方式の導入

※DB方式・・・官民が連携して公共サービスの提供を行う PPP・PFI 手法の一つであり、設計及び施工の両方を同一業者に一括して発注する方式のこと。

②収益確保に向けた取組検討

- ・ 水道料金（未収金）回収の推進及び法的措置を含めた対応強化
- ・ 遊休資産の売却や施設のあり方の検討
- ・ 水道料金の適正化の検討

③安定的で良質な水道水を供給するための取組推進

- ・ 異臭味対策の調査・検討

④水道事業の広域化に関する検討

- ・ 滋賀県水道広域化推進プランに参画
- ・ 資材の共同購入やシステム共同化推進